

透析医会、それらの地方組織でもあらためて災害時の透析医療の確保に重点をおいた対策が協議されています。

この点に関して私ども透析医療事業部の対応は、後ほど項をあらためて書かせていただきます。

〔偕行会グループの現状と今後〕

すでにご承知のことかと思いますが、名古屋共立病院は医師と看護師など医療スタッフの退職があったため、入院病床の一部閉鎖と一部診療科の休診が行われます。私ども偕行会の透析施設で治療をお受けになったださっている皆様にはご迷惑とご心配をおかけいたしますが、しばらくの間ご容赦をお願いいたします。名古屋共立病院では、新たに偕行会で働く仲間として勤務してくれる複数の医師がほぼ確定し、新規の看護職員募集も進行しております。これにより、そう遠くない時期に以前と同じ入院病床のオープンと、透析をお受けになっているかたの合併症対策をより一層充実したものとする体制を整えることができると考えております。

一方、昨年 4 月より城西病院の運営を名古屋市より継承し、あらたに偕行会城西病院としてスタートを切らせていただきました。本年 6 月には 120 床の新しい病院が完成する予定ですが、透析をお受けになっているかたにもさまざまな貢献をできるものと考えております。

名古屋共立病院は急性期型の病院ですので、長期間の入院はなかなかお引き受けしにくいのですが、偕行会城西病院は入院治療が長期間にわたると予想される患者さんも引き受けさせていただけるよう体制を整えていきます。ですから、お体の調子により通院透析が困難になったかたなどの入院透析も受け入れさせていただける病院をめざしています。

偕行会グループの病院は、名古屋共立病院、偕行会リハビリテーション病院、そして偕行会城西病院と3つになり、皆様の様々なニーズにお応えできるようそれぞれの病院が特色を出すために工夫をして参ります。

在宅医療事業部の取り組みも偕行会グループの大きな柱のひとつです。訪問看護や訪問介護、グループホームの開設など、医療と介護を結ぶ役割を担えるように、スタッフの充実を図っていきます。